

# 酪農学園大学共催シンポジウム

## 野生鳥獣との共存の未来を築くために ～”Wildlifer”の育成と課題～

### Creating the future of harmonious coexistence with wildlife

#### - Developing “Wildlifers”: Training and challenges -

佐藤喜和・伊吾田宏正・伊藤哲治・立木靖之（酪農学園大学環境共生学類）・奥村忠誠（株式会社野生動物管理事務所）・久郷真治（北海道庁）・浦田 剛（占冠村）・宇野裕之（東京農工大学）・岸本真弓（元株式会社野生動物管理事務所）

近年、多くの野生鳥獣と人との間で、多種多様な問題が起きており、全国的にそれらの問題解決が求められている。これまで問題の中心となっていた農作物被害や環境に関わる問題だけでなく、人の生活圏に野生動物が侵出し、人身被害や生活被害が、頻繁に起きている。これらの問題を解決するためには、行政・企業・専門家など、様々な立場の人材が十分に野生鳥獣の生態や管理に精通し、各地域の実状に合った野生動物対策や管理ができる体制を構築していかなければならない。そのためには、野生鳥獣に関する教育と人材育成を促進していく必要がある。

酪農学園大学の環境共生学類は、2011年に野生動物コース（2026年度から野生動物領域に改名）を設置した。本コースでは、野生動物の保護と管理について、北海道を中心としたフィールドで、幅広い生態学的なベースに立脚した理論と技術について学んだ人材「Wildlifer」の育成を行っている。長年、野生鳥獣に関する人材を輩出してきた本学ではあるが、さらに各地域で活躍する Wildlifer を増やし、日本の野生鳥獣問題の解決に貢献していきたい。

本シンポジウムは、酪農学園大学環境共生学類の野生鳥獣問題を解決するための人材育成とその取り組みについて紹介する。そして、実際に野生鳥獣問題の最前線に立つ様々な立場の Wildlifer の方々から、それぞれの立場での業務内容や学生のうちに学ぶべきこと・経験すべきこと・求められる能力について紹介していただき、これからの野生鳥獣に関わる人材育成の在り方について整理し、共通認識を持つことを目指す。また、本シンポジウムにより、Wildlifer を目指す若者たちが、迷いなくその道を進めるための勇気づけになることを願う。

- ・酪農学園大学野生動物コースの取組み：伊藤哲治
- ・野生動物の民間企業の仕事および必要とされる人材：奥村忠誠
- ・野生動物関連の行政（都道府県）の仕事および必要とされる人材：久郷真治
- ・野生動物関連の行政（市町村）の仕事および必要とされる人材：浦田 剛

・酪農学園大学の野生動物コースのこれから：佐藤喜和

コメンテーター

宇野裕之・岸本真弓・伊吾田宏正

総合司会：立木靖之